

市長と語る タウンミーティング

テーマ「選ばれるまち、住みやすいまちにするアクションは、今がその時!!」

日時 平成25年8月18日(日) 午後2時～3時40分

会場 ゆめぼると

天気 晴れ

参加者 132人

主な意見等 (◆・・・参加者 ☆・・・市長)

- ◆合併特例債について市長の説明で納得いかない部分がある。7割を国が負担してくれるから市は3割しか負担しなくていいという説明だった。10億の借入れを起こしたら7億は交付税での補填とのことだが、先程の説明では市民は、10億のうち7億はなめてもらって3億だけ負担すればいいという受け止め方をする。借金をするにはは考え方が安易なのでは。市債残高が350億ということは、1年の予算では賄いきれないほどの借金を抱えていることになる。350億の予算のうち自主財源はどのくらいか。
- ☆約350億の平成25年度予算のうち約148億は市税収入。今までは約20億円くらい返済しながら20億円借入れるという状況だったが、今後3年間は合併特例債により約150億の借入れを予定している。先程は分かりやすく説明するために7割、3割という表現をした。実際に借り入れをするときは、5%は元金として持っていなくてはならない。おおまかに言うと、事業費の95%に対して起債が可能。また返済時には利息がつくが、元利償還金の7割を交付税で措置してもらえ。市は元利償還金の3割を負担する。しかしながら交付税であることから、算定の基礎や補正係数は年々国で手が加えられている。全国の全ての合併自治体が起債可能な額の合併特例債を発行したときにそれだけの財源が国にあるかといえば、おそらくないだろう。国の債務残高は1,000兆円を超えた。ご指摘のようにふじみ野市の一般会計の債務残高は約240億、特別会計を合わせると340億～350億。返済に当たっては30年先までのシミュレーションをして計画的に行っていくが、税収は一定でないため、毎年の返済が滞らないように減債基金を積み上げている。財政調整基金についても今年の9月の補正で20億積み上げ、万が一に備えている。好転とまでは言えないかもしれないが改善をしてくれている。
- ◆市の職員のうち市民権を持っている方の比率を教えてください。今回のテーマに関係するが、市民である職員と市外に住んでいる職員の意識は違うと思う。現状と今後どのような構成にしていく計画か聞きたい。また市全体で約47,200世帯のうち市民税を払っている世帯はどれくらいあるか。未納者はどれくらいなのか。財源をどうするかという話がないのは、政治家としては無責任なのでは。厳しい話を訴えて支持を得る市長であってほしいと切望する。

☆市の職員のうち、約半数が市内居住者ということで捉えている。課税世帯、非課税世帯の数は本日資料を持ってきていないため、申し訳ないが答えられない。場合により後日お伝えすることは可能。職員採用については、共通で公務員試験を実施し、その後市で面接を行う。かなり高水準のレベルで実施しているが、学力だけがよければいいというわけではない。人間性が最も大事だと考えている。その点をきちんと見たうえで採用している。昔でいう縁故採用は一切していないのでご承知おきいただきたい。また厳しい話をしながら理解を得るのが政治家の務めというのはおっしゃるとおりだと思う。市内循環バスもそのひとつだが、受益と負担についてご理解をいただかなければならない。国全体で社会保障制度が成り立たなくなっている。この問題は、もっと前に国が取り組むべきだったと思うが、消費税率を上げるだけで負担できるかといえどもとんでもない話。社会保障費は毎年1兆円増えている。人口減少社会を迎えた中であれもやる、これもやるというのは不可能。まずは生活保護の制度を変えてもらいたいと思っている。残念ながらふじみ野市では生活保護の世帯は1,000世帯を超えている。年間支出24億円のうち、市が6億円を負担している。先進国でこのようにみんなで助け合える制度があるのは日本だけですばらしい制度だが、それに甘えてしまっている人がいるのも事実。少し法律をいじるだけでそれは変えられるのだが、立法府は国会。国が制度を変えてくれなければ法律を執行するのが自治体の役割である以上、つらい部分がある。受益者負担については他の会場でも言われた。ご指摘のとおり今後は皆さんにご負担をいただく話についてもしていきたいと考えている。

◆障がい者の方が市のイベントに積極的にご参加いただく方法はないか。どうしても引きこもりがちになると思うので市で引っ張り出してもらえないか。自分も知り合いだったら呼ぶが、市でも窓口でイベントのご案内など積極的にしてほしい。それがやさしいまちではないか。

☆市役所だけでなく、地域の方々とも協力して障がいの有無にかかわらず、共生できるまちを目指していくことは大事なことだと思う。ご意見は参考にさせていただきたい。

◆静岡県長泉町というまちがテレビで紹介されているのを見て、こういうまちだったらいいなと思ったのだが、小学校の低学年では児童支援補助員に入ってもらって、全体の学習が止まらないようにしている。このまちではふじみ野市と同じで医療費がタダだったり、児童館があったり、育児、教育に力を入れていて、転入者が多いそう。幼稚園の子がいるが、そういうことをもしやっていたら小学校に入った時に安心だと思う。またデリケートな話だとは思いますが、プール事故があってなくなってしまった。近くにないところまで連れて行っていいか分からない。子育てをしている中で要望があることはお伝えしたい。公園の遊具についても、もう少し考えてもらいたい。ブランコと砂場が増えたが、すべり台がいつの間にかなくなった。しばらくすればつくってもらえるかと思っていたが音沙汰がなく、言わなければつくってもらえないと思

ったのでお伝えした。また児童センターをつくってもらってありがたいと思っているのだが、富士見市のようにお弁当を持って行って食べる所をつくってもらいたい。

☆我が市も生徒指導支援員や少人数指導支援員がいて、名前のおり以外のサポートも行っていて授業が止まらないような取組を行っている。近隣でも整備が進んでいる方だと思う。プールの話だが、市としてレジャープールの建設は考えていない。県内でも廃止の動きで、幼児については、公園の水遊びができるような場所や川越水上公園などを活用していただきたい。残念なお話かもしれないがレジャープールを維持するためにお金をまわせるような状況ではない。公園の遊具の話だが安全点検をやって、少しでも危険性があれば修繕するか、撤去という形になる。再度設置するというのは困難な状況。また児童センターの件だが、東児童センターも1階におりてきて食べたりしているようなので、同じようにしていただくか、陽気が良くなれば近くの公園などで食べたり工夫をしていただければと思っている。ご要望いただいたことは、限られたお金の中でここは我慢していただくとか、ご負担いただける部分ではご負担いただいたり、あるいは市と折半でとか優先順位をつけながらやっていきたいと思っている。

◆合併して8年、案内板、表示板、旧市町の表示はなくなってきているが、応急処置的に上から紙を貼っただけ、あるいはシールを貼ったりというような対応に留まっているのはどうか。そういう小さな部分の目配りも必要だと思う。

☆名称については、行政が率先して変えていかなければいけないと私自身思っている。就任後水道タンクの名称を変えさせていただいたり、先日は市民の方から大井高校がふじみ野高校に変わったのに、市内循環バスの停留所の名前が大井高校前のまになっているというご指摘を受けた。市の職員が隅から隅まで全てを把握するのは難しいので、逆に市民の方がそういうことを声かけてくれたということで対応させてもらっている。ご指摘いただいたようにふじみ野市という名前は小さいお子さんにも浸透していると思うので、小さな部分についても努めていきたい。

◆水道管の耐震化についてお聞きしたい。

☆水道管の耐震化には莫大な費用がかかる。現在は古い石綿管の入れ替えを毎年約2億円ずつかけて行っている。全部入れ替えるまでには相当の年数がかかる。併せて水道事業は企業会計をとっているが、水道自体が今の料金のままではやっていけない。水道水をつくる原価の方が給水をしている金額より高く、逆ざやの状態。年間で今までは約7千万円の赤字だったが、去年は電気料金が上がったことも含め、9千数百万円の赤字になっている。新規の加入金など本来は資本的なプールしてある部分まで取り崩して赤字を埋めながら入れ替えを行っているが、もう何年かすればそれも枯渇する。水道料金自体を見直さなければいけない。全世帯に換算すると数百円の値上がりになるかと思うが、それを市民の皆さんにご理解いただきながら、いざというときのため

のライフラインとしてダクタイル鋳鉄管や耐震継手など地震に強い構造へ整備を進めていきたいと思うが、現状では石綿管の入れ替えだけでせいっぱいの状況。

◆大井保健センターの施設を今後どのように活用していくのか説明をしてもらいたい。地域の方たちにとっては大事な拠点であり、不安に思っている。

☆新たな活用については正式には決まっていない。近くの方がコミュニティ的な使い方をしていた、便利だったというのも大事なことだし、ご意見を伺いながら進めていきたいと思っている。しかし、1番大事なことは、施設の遠い近いより全ての市民の方に公平なサービスを展開できるようにすること。税収が減っていく中、コストをかけないでサービス水準を維持できるような公共施設の配置や運営のあり方を考えていくことが重要だと思っている。

◆たまに市役所の本庁舎に行くが、東武鉄道の立体交差は実現しないのか。渋滞で不便を感じている。また大井総合福祉センターの利用率はどうか。バスの利用率はどうか。

☆これまでも地下道の話はあったが、65億円かかるということから、国の事業認可を受けていたものの着手できず時間切れになってしまった。現在はそれだけの財源を用意できる状況ではない。大井総合福祉センターの利用率は正確な数字は分からないが、老人クラブごとに送迎していたり、近隣の人しか使っていないのではないかという声もあり、必要性も含めて今後見直しをしていかなければならない。市内循環バスについては利用率は非常に低く、年間3,000万円の赤字。65歳以上の方は一律無料という形でなく、障がい者の方などみんなで支えなければならない部分については負担を軽減しながら、ご負担いただける方には受益者負担についても考えていかなければならないと思っている。ご指摘のように様々な面で利用される頻度と費用対効果、この程度しか使っていないのにこんなに税金を投入しているのかということとはきちんと調べていきたい。

◆30年先を見て考えているという話だったが、30年後、19歳の自分も50代になっている。タウンミーティングなどを活かしてきちんと将来のことを考えてもらってそれを私たちの代がバトンタッチしていけたらいいと思う。

☆子供にツケをまわさないという言葉が私は好きなのだが、30年後の人たちに少しでも負担を減らしていけるかということを考えている。本庁舎も新築した方が運営していくコストが少なくてすむかもしれないが今新築すると100年先まで使えるコンクリートをつくってしまう。しかし30年先には富士見、三芳、新座、志木、和光、あるいは川越といった広域的な合併をしないと地域が成り立たなくなるかもしれない。そのときには本庁舎を支所にしてはどうかとか、維持費用がかからないように解体してはどうかとかいったことにもなるかもしれない。今は先を見据えて最小限のコストに抑え、次の世代に負担を残さないようにしようという考えでやっている。

◆先程総合福祉センターの話があったが、以前のタウンミーティングで、財政が赤字ということであればお風呂を使う人に少しでも負担をしてもらったらどうかという話が出ていたがそれはどうなったのか。

☆お風呂に入るといふ利益をもらう人が相応の負担を払っていく、みんなで負担し合っていくということは本当に大事なこと。しかし、無料のものを有料にするのは非常に困難で時間がかかる。議会での意見も割れてくる。すぐに形にできず申し訳ないが、懸命に取り組んでいる。ご理解いただきたい。